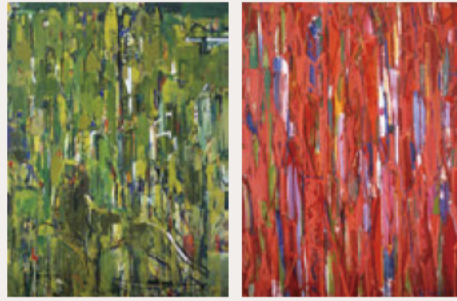


- I 第二の故郷・ニューヨーク
- II 楽園・東南アジア
- III パリの踊り子/ヨーロッパ
- IV ワンダーランド

石垣定哉(1947～)は、三重県員弁郡東員町の出身です。子どもの頃から絵画制作を好み、1966年に愛知県立芸術大学美術学部に入りました。大学時代は同時代の前衛美術に関心を寄せたこともありましたが、1970年代前半から油彩画を本格的に発表するようになります。

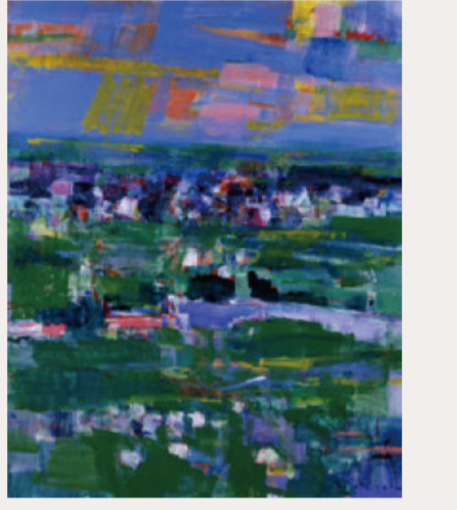
定的にしたのは、青年時代から幾度も訪れたニューヨーク・マンハッタン風景を主題にした80年代末から90年代前半の半抽象的な作品でした。この頃になると、石垣は各種展覧会でも受賞を重ね、洋画界で注目を集めるようになります。

木々が生い茂るパリ島やシンガポールを取材したパラダイス・シリーズ、そしてパリの踊り子たちを描いたクレージュ・ホース・シリーズなど、新たな展開を見せた石垣でしたが、しかし、順調であった画家を病魔が襲います。2008年4月、瀬戸内地方を旅行



2 | 3
4
5

- 1.アマルフィーへの道 1987年 個人蔵
- 2.Day in Midtown 1994年 刈谷市美術館蔵
- 3.Dog with Manhattan 1994年 刈谷市美術館蔵
- 4.光のスペクトル 2003年 個人蔵
- 5.ブルゴーニュの田園 2008年 作家蔵



ISHIGAKI

2016.10.8 sat. - 12.11 sun.
Mie Prefectural Art Museum

石垣定哉展

1973年からは白日会へ出品するようになり、翌年初個展を開催した後、ヨーロッパ、続けてニューヨークに滞在して様々な模索を行いました。

1978年に帰国した後は故郷の風景や女性像などを制作しますが、試行錯誤を繰り返す時代が続きます。白日会や個展での作品発表、海外への取材旅行を重ねる内に、1980年代終わり頃から強い色彩を特徴とするようになります。そうした展開を決

中に石垣は脳梗塞を発症、入院とリハビリという苦難の日々が続きましたが、2010年代前半には再起を果たします。再起後初の大規模な個展となる本展覧会では、初期から壮年期までの代表作と病を克服して描かれた新作によって、石垣定哉の歩みを紹介します。

会期中のイベント

- | 担当学芸員によるギャラリートーク |
本展担当学芸員が、展示室内で作品や展示について分かりやすく解説します。
10月23日(日) / 11月20日(日) いずれも14:00～
※ギャラリートークは、展示室に入室するための観覧券が必要です。
- | 美術セミナー(場所:菟野町体育センター) |
11月6日(日) 13:30～ / 14:30～ 各回定員50名
「画家・石垣定哉の世界」 申し込み不要
講師=田中善明(三重県立美術館学芸員)
- | ミュージアム・コンサート |
◎林峰男(チェロ)
10月8日(土) 14:00～
エントランスホール[入場無料]
無伴奏組曲1番 パッサリ / 無伴奏組曲 カサド



◎交通 ※できる限り公共交通機関をご利用ください。
近鉄JR津駅西口から徒歩約10分、または、津駅西口1番のりばより、三重交通バス「西団地循環」、「津西ハイタウン行き(東団地経由)」、「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車2分、「美術館前」下車徒歩1分

三重県立美術館
Mie Prefectural Art Museum



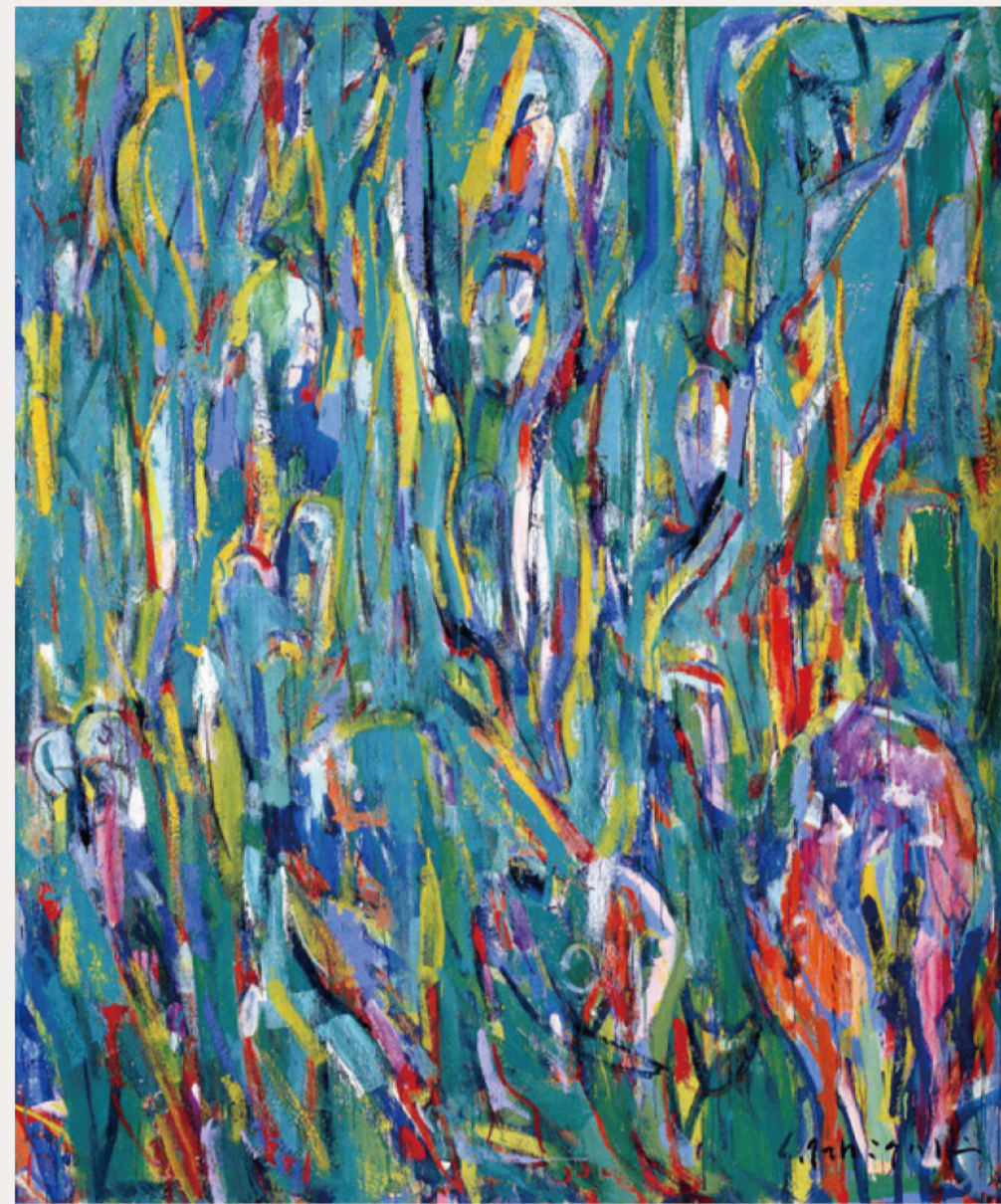
〒514-0007 三重県津市大谷町11
TEL 059-227-2100 FAX 059-223-0570
http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/
Follow us on Twitter @mie_kenbi

◎次回の企画展(予定)
「再発見! ニッポンの立体」
2017年1月24日(火) - 4月9日(日)



ISHIGAKI

2016.10.8 sat. - 12.11 sun.
Mie Prefectural Art Museum



◎この料金で常設展示もご覧いただけます。 ◎学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。
◎身体障害者手帳等をお持ちの方及び付き添いの方1名は観覧無料。 ◎家庭の日10月16日(日)、11月20日(日)は団体料金となります。
◎主な前売り券発売所: チケットぴあ、サークルKサンクス、セブン-イレブン他
◎交通: 近鉄JR津駅西口から徒歩約10分。ご来館には公共交通機関をご利用ください。

2016年
10月8日(土) - 12月11日(日)
三重県立美術館

開館時間
午前9時30分 - 午後5時
※入館は午後4時30分まで

休館日
毎週月曜日(ただし10月10日は開館)
10月11日(火)

観覧料
一般 900円(700円)
学生 700円(500円)
高校生以下無料
()内は、前売りおよび20名以上の団体料金

主催 | 三重県立美術館 / 中日新聞社
後援 | 東員町 / 東員町教育委員会
三重テレビ放送 / 三重エフエム放送
助成 | 芸術文化振興基金
公益財団法人 三重県立美術館協力会
協力 | 日動画廊

